

# 一般質問

## 質問した事項

(登壇順)

|                    |   |                                |
|--------------------|---|--------------------------------|
| 鵜浦 昌也<br>(創生会)     | 1 | 雇用の創出と産業振興策                    |
|                    | 2 | 防災対策                           |
|                    | 3 | 消費税の増税対策                       |
| 及川 修一              | 1 | 地域交付金制度                        |
|                    | 2 | 道の駅「高田松原」の復活オープン               |
|                    | 3 | 財政の現状と将来見通し                    |
| 伊勢 純<br>(日本共産党)    | 1 | 平成30年度決算と本市の財政状況               |
|                    | 2 | 高校生の進路支援                       |
|                    | 3 | 子どもたちの健康を守る医療費無料化              |
|                    | 4 | 子ども副食費補助と学校給食費                 |
|                    | 5 | 塩蔵ワカメの保管冷蔵庫助成                  |
| 伊藤 勇一<br>(碧い風)     | 1 | ふるさと納税の寄附状況                    |
|                    | 2 | まちづくり総合計画における道路行政              |
|                    | 3 | 財政運営                           |
| 菅野 広紀<br>(碧い風)     | 1 | 復興事業の進ちょく状況と復興計画の検証            |
|                    | 2 | 行財政見通し                         |
|                    | 3 | 小学校の適正規模化と施設整備状況               |
| 大坪 涼子<br>(日本共産党)   | 1 | 高田松原津波復興祈念公園オープンと今後の津波防災のまちづくり |
|                    | 2 | 開院後の県立高田病院の取組状況                |
|                    | 3 | 高齢者の難聴など、聞こえの支援                |
| 蒲生 哲<br>(新志会)      | 1 | 高田松原津波復興祈念公園及びその周辺施設           |
|                    | 2 | 本市に整備されている県立施設の復旧状況            |
|                    | 3 | スポーツを通じたまちづくり                  |
| 中野 貴徳              | 1 | 土砂災害対策                         |
|                    | 2 | 防災無線・戸別受信機の各戸配置                |
|                    | 3 | 防犯カメラの設置                       |
| 小澤 睦子<br>(碧い風)     | 1 | 民泊事業                           |
|                    | 2 | 寄贈されたアート作品                     |
| 松田 修一<br>(碧い風)     | 1 | 経済的自立に向けた持続可能なまちづくり            |
| 木村 聡<br>(とうほく未来創生) | 1 | 陸前高田市地域交付金制度                   |
|                    | 2 | 行政と民間の協業                       |
|                    | 3 | 交通まちづくり                        |
| 大和田加代子<br>(碧い風)    | 1 | 公共交通網の整備                       |
|                    | 2 | 高田松原津波復興祈念公園の防災体制              |
|                    | 3 | 道の駅高田松原                        |
| 大坂 俊               | 1 | 陸前高田市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと総合戦略     |
|                    | 2 | 地区コミュニティセンター                   |
|                    | 3 | 被災市街地土地地区画整理事業地内の土地利用          |
| 藤倉 泰治<br>(日本共産党)   | 1 | 本市独自の復旧・復興の取り組み                |
|                    | 2 | 今後の国保運営と国保税                    |
|                    | 3 | 地域資源を生かした産業振興                  |



鵜浦 昌也  
(創生会)

## 人口減での企業誘致策は 総合戦略進め雇用の創出へ

質問 人口減少や労働力不足に対応した企業誘致の在り方をどのように考えるか。

答弁 新たな移住や定住を

致に力を入れていく。

質問 工業団地に関する企業からの問い合わせは。

答弁 竹駒町の滝の里、横

分譲環境などを見据えながら企業からの立地要請に対応していきたい。

質問 既存の企業や事業所

るツアーなど、観光事業との連携を図りたい。

## 強風被害の対策は

質問 千葉県での台風15号による被害の教訓は。

答弁 改めて風の恐ろしさを痛感した。特に、停電が長期化した際の備えの重要性を再認識した。中心市街地で計



滝の里工業団地内の仮設住宅

呼び込むため、平成28年に「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、交流人口の拡大や仕事の創出、子育て環境の整備などに取り組んでいる。今後も本市の気候や環境に合った陸上養殖、ピーカンナッツなど、新たな付加価値と雇用の創出が期待できる企業の誘

田町の三日市に整備した工業団地のほか、長部漁港の水産加工団地には、すでにいくつかの企業が立地し、操業している。その一方で、本市は今なお復興途上にあり、団地内には仮設住宅や工業用資機材が置かれている箇所もある。復興の進展により、団地内の

の異業種間、同業種間連携による産業の活性化策は。

答弁 9月にオープンした道の駅「高田松原」を異業種・同業種間連携による新しいサービスの拠点と位置付けている。陸前高田だからこそ味わえるメニューの提供、収穫体験を通じて生産者となつ

画されている電柱の地中化を進めるとともに、電気自動車などの活用も検討する。

## 消費増税どう捉える

質問 消費税の増税をどのように捉えているか。

答弁 今回の消費税率引き上げ分は、年金、医療、介護

の社会保障費のほか、子ども子育て支援施策に要する経費に充てるとされている。本市でも今回の消費税率引き上げを財源とした幼児教育・保育の無償化が10月からスタートしており、子育て支援に係る重要な施策の推進が図られるものと期待している。



及川 修一

## 実質公債費比率の今後は 庁舎建設後も17%前後で推移

質問 財政状況を表す実質公債費比率は、15・0%で適正とのことだが、復興期間後の見通しはどうか。

答弁 市役所建設などの後でも17%前後で推移すると見込んでいますが、今後も健全な財政運営に努めていく。

質問 市が将来返す負債を数値にする将来負担比率は県内上位で安心しているが、今後の見通しはどうか。

答弁 復興・創生期間終了

後の令和3年度以降も、当面比率は算出されない見込み。

質問 本市は貯金である基金残高が多く、貯金で借金を返すべきという市民の考えをどのように考えるか。

答弁 後年度の財源として基金残高を確保し、起債の借入については過疎債などの有

利な起債を活用する。

## 地域交付金の課題は

質問 各地区に500万円

を上限として交付する地域交付金制度が始まっているが、利用内容はどうか。

答弁 敬老会や運動会、夏祭り、草刈り作業、防犯灯設置など、地域課題によつて広く活用していただいている。

質問 今後の課題はどうか。

答弁 コミセン役員の皆様に、説明から意見の集約や事業の選定、申請事務など負担をかけているので、手続きの

サポート、事業の橋渡しなど丁寧な対応をしていきたい。

## 道の駅の滑り出しは

質問 道の駅「高田松原」が復活オープンしたが、利用者の状況と滑り出しの感触をどのように捉えているか。

答弁 9月22日から30日までの間で、3万8千人の来場があった。「津波伝承館」など一体となった施設で、相乗効果が現れ、予想を上回る滑り出したと感じている。

質問 道の駅利用者を中心

市街地に迎える手立てをどのように考えているか。

答弁 「ほんまるの家」や「まちの縁側」などの著名な



にぎわう道の駅

建築家による建物も魅力である。「ほんまるまるしえ」や「ふくふく市」などを開催しているが、今後もさまざまな取り組みをしていきたい。

※1 ほんまるまるしえ…交流施設ほんまるの家で毎月第4日曜日開催  
※2 ふくふく市…まちなか広場周辺で毎月第2・第4金曜日開催